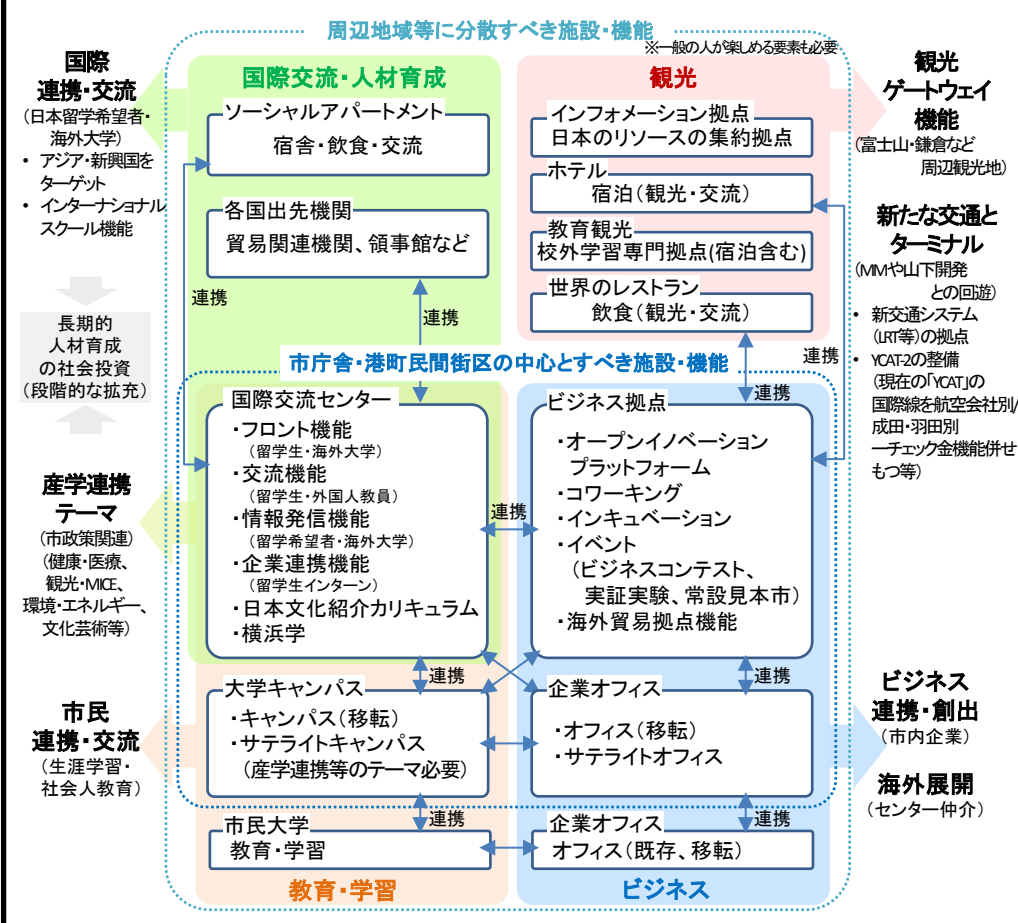
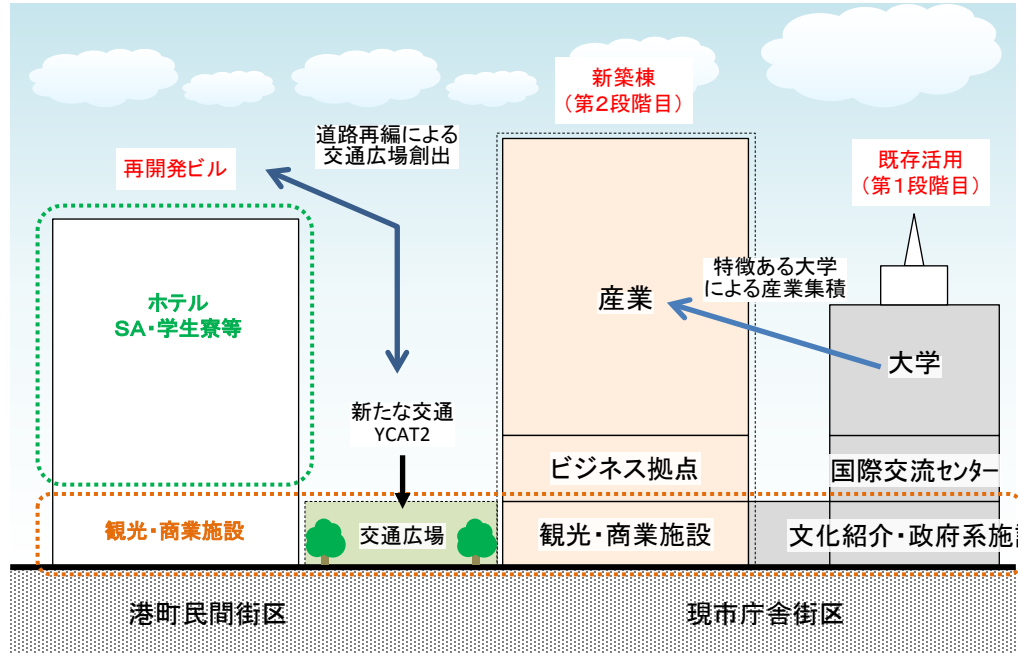


アイデア1 国際交流センターを起点とした横浜らしいビジネスの創出



概要

- 大学の進出ニーズに着目して、**国際交流・人材育成を核にビジネスと観光が連動した拠点**を形成する。
- 国際交流センター**を設置して、各大学が持つ海外大学とのネットワークや事務を共有し、**留学生の受入れを促進**する。(国際単位認定、外国語授業などの留学の障壁除去)
- 留学生と市内企業との交流**(就職・インターン等)を促進し、企業のグローバル展開の基礎づくりを行う。
- 産業と結びつきの強い大学群(観光、技術開発など)を誘致し、**新たな産業活動や起業促進の環境を整える**。
- ビジネスコンテスト等のイベントやオープンイノベーションにより**企業の製品開発・商品化を下支え**する。
- 人材育成を長期の社会投資**ととらえ、大学・企業と行政が連携して**段階的に拡充**させていく。第一段階目は、コストと未活用期間を最小化するため、既存庁舎を活用など。
- 横浜都心部観光の一端を担い、**交通広場を核とした観光のゲートウェイ**を形成する。
- 国内外からの誘客に向けて、**東京とは異なる横浜の魅力**を売りにする。



波及効果

- 1 「大学」「国際交流」「ビジネス」「観光」の集積が横浜・関内の新たなブランディングと活力を生む。
- 2 国際交流センターが人材育成・企業活動のグローバル展開を推進し、横浜市の国際化に大きく貢献する。
- 3 産・学・国際による人づくり・仕組みづくりが中心となり、継続性の高いまちづくりが期待できる。
- 4 大学・ビジネス・ホテルは市庁舎機能移転後の空きビル対策に資する相当量の床供給につながる。